

三田市立上野台中学校および八景中学校の統合にかかる 新中学校整備に関する 川除区住民説明会



三田市教育委員会 学校再編課



1



2

上野台・八景中学校の再編統合にかかるこれまでの経過

	区 分	項 目
附属機関 (諮問⇒答申)	平成29年7月	三田市立学校園のあり方審議会設置
	平成29年7月 ～平成30年3月	三田市立学校園のあり方審議会(計7回開催)
	平成30年3月	三田市立小中学校のあり方について(審議会より答申)
方針案策定、パブコメ	平成30年4月	三田市立学校のあり方に関する基本方針(案)策定
	平成30年5月 ～平成30年6月	三田市立学校のあり方に関する基本方針(案)に対する市民意見(パブリックコメント)の募集
基本方針策定 望ましい学校規模 小学校(12～18cl) 中学校(9～18cl)	平成30年6月	市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方(公表)
	平成30年7月	三田市立学校のあり方に関する基本方針策定
説明会開催	平成30年8月 ～平成30年9月	基本方針説明会を実施 【全8中学校区で実施:計243人参加】(公表)
行政案提示	平成30年12月	三田市立学校再編計画(第1次計画)を策定 行政案:両校を再編統合し、八景中学校区内に新設

3

Q. なぜ統合して新設するの？

A. 両校の諸課題を解消し、教育環境をよくするためです

両校が抱える課題

上野台中

生徒数が少ないことによる教育上の課題

- ・多様な考え方に触れる機会が少ない
- ・多人数で行う学習など、さまざまな場面で選択肢が限られる
- ・クラス替えがなく、人間関係が限定され、固定化しやすい
- ・職員が少なく、組織的な対応がしにくい など

全校学級数 3クラス生徒数98人(5月1日現在)

八景中

市の最南端に位置することなどによる学校運営上の課題

- ・通学の安全確保
- ・国道から学校までの進入路が狭い急坂
- ・校舎とグラウンドが離れている など

全校学級数 15クラス生徒数522人(5月1日現在)

新設統合により

■小規模化に伴う教育上の課題の解消

- ・生徒同士が「学び合い、高め合える」教育環境をつくることで、さまざまな教育上の効果が期待できます
- ・学習活動や学校行事の幅が広がる
- ・集団の中で協力したり、互いに刺激を受け合い、高め合う経験ができる
- ・さまざまな考えに触れ、学習を深められる
- ・クラス替えにより人間関係が広がる
- ・教職員が増え、生徒を多面的に評価できる など

■地理的、地形的な課題の解消

- ・両校の生徒が安全に通学できる場所で、安心して学校生活を送ることができます

4

経過(つづき)	区 分	項 目
【再編計画(第1次計画)】 説明会、意見交換会	平成31年2月	・三田市立学校再編計画(第1次計画)説明会を実施【全4回 計417人参加】(公表)
	平成31年2月 ～令和元年9月	・上野台、八景中学校の地域、保護者を対象に、小規模な単位での説明、意見交換を実施【全13回 計198名参加】
【地域協議会】 保護者・地域代表等 (委員36名)による協議、意見集約	令和元年12月～	・三田市立上野台中学校及び八景中学校再編地域協議会設置 ・全体会4回、各校区部会10回(5回×2校区) ・中間まとめ報告会、全世帯アンケート実施
	～令和3年12月	・第4回地域協議会(全体会)にて、行政案に賛成することを主旨とする「 最終まとめ 」をとりまとめ
市として正式決定	令和4年3月24日(総合教育会議)	・地域協議会の「最終まとめ」を受け、両校を統合し、八景中学校区内に新設することを市として正式決定
・候補地調査、選定 ・基本構想、基本計画策定に着手、 ・関係者等との調整	令和4年度～ 令和5年度	・候補地の調査、選定のため市内部で組織を横断するプロジェクトチームを設置、検討 ・より専門的、客観的な観点から候補地の調査、選定を行うため、外部専門機関に調査を委託、内定
	現在 令和6年度	・用地補償等基礎調査(決定)、基本構想(アンケート調査の実施)策定に着手、関係者、関係機関等との調整

5

地域協議会の「最終まとめ」の内容

1 行政案の是非について

八景中と上野台中の課題を解決するために、基本的には「八景中と上野台中を統合し、八景中学校区内に新設すること(行政案)」に**賛成**する。ただし、「2統合にあたって**留意すべき事項**」を**最大限尊重**すること。

2 統合にあたって留意すべき事項

(1) 新設校の場所に関すること

- ① 上野台中と八景中の中間付近で、八景中の生徒が徒歩または自転車で通学できる場所
- ② 徒歩・自転車・バスのいずれの方法でも生徒が安心して通学できる場所

(2) 通学手段および通学の安全確保に関すること

- ① 学校の教育活動に十分配慮して、学校の時程に沿った路線バスの確保またはスクールバスを確保すること。
- ② 上野台校区については、**バス通学**(路線バス、スクールバス)を基本とし、現在の遠距離通学補助基準(4km以上)を柔軟に運用すること。
- ③ 徒歩や自転車通学の生徒が安全に通学できるよう、**通学路の安全を確保**すること。

6

地域協議会の「最終まとめ」の内容

(3)統合までの子どもへの支援に関すること

- ①統合までの間、小規模校である上野台中の生徒への十分な支援（通学手段の確保、教職員の配置、合同部活動等）を行うこと。
- ②スムーズな統合となるようにできる限り盛んな学校間の交流を行うこと。

3 統合決定後に協議すべき事項

「再編準備会（仮）」を開催し改めて協議するが、その主な項目は以下の通り。

- ①めざす学校像に関する事
- ②子どもの心のケアに関する事
- ③具体的な通学手段および通学の安全確保に関する事
- ④地域への影響（活性化など）に関する事
- ⑤学校跡地の活用に関する事
- ⑥少人数学級やICT化など今後の状況変化への対応に関する事

通学手段（下記**基本**に検討）

- ・上野台中生徒：**スクールバス**
- ・八景中生徒：**徒歩又は自転車**

4 要望事項

- ①統合決定後、新設校の場所や開校までのスケジュールなどを早急に示し、スピード感を持って取り組んでほしい。

統合校整備地選定の基本的な視点

1. 安全性

- ・土砂災害警戒区域や急傾斜地等を避ける

洪水浸水想定区域では、嵩上げにより対策可能な場所

2. 居住分布

- ・両校の中間付近で、居住分布も考慮した場所

八景中学校区の生徒の多くが徒歩で通学できる場所

3. アクセシビリティ

- ・通学に用いる歩道等が一定整備されている場所
- ・八景中学校の生徒が徒歩または自転車で、上野台中学校の生徒がバスで安全に通える場所

歩道等の幅員が広く、バスの寄り付きも容易な場所

4. 面積

- ・住居の密集や商・工業・公共施設等を除いた一団の土地を有する区域

住居等の密集や大きな高低差のない、中学校整備に必要な一団の敷地を確保できる場所

中学校整備指針による「教育的な視点」や「実現性の視点」

1. 校地環境

- ・ 建物、運動施設等を安全に設置でき、**有効利用できるまとまりのある形状**
- ・ 危険な**高低差**や**深い池**などが無い
- ・ **過大な造成**を避けることが可能
- ・ 緊急時の避難、緊急車両の進入等に支障がない など

2. 周辺環境

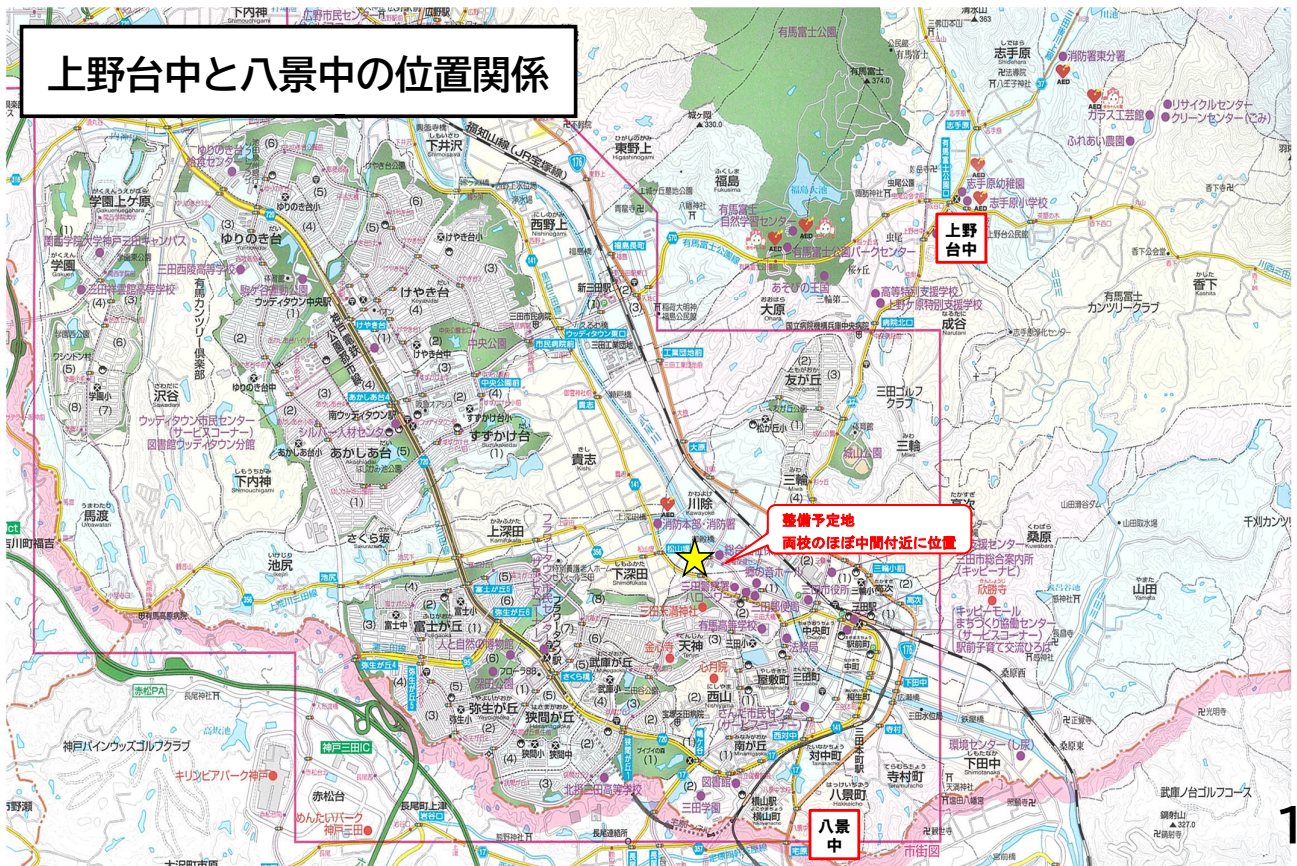
- ・ 周辺に**教育上ふさわしくない施設**が立地していない
- ・ 周辺に工場等（振動、騒音、臭気）の施設が立地していない など

3. 通学環境

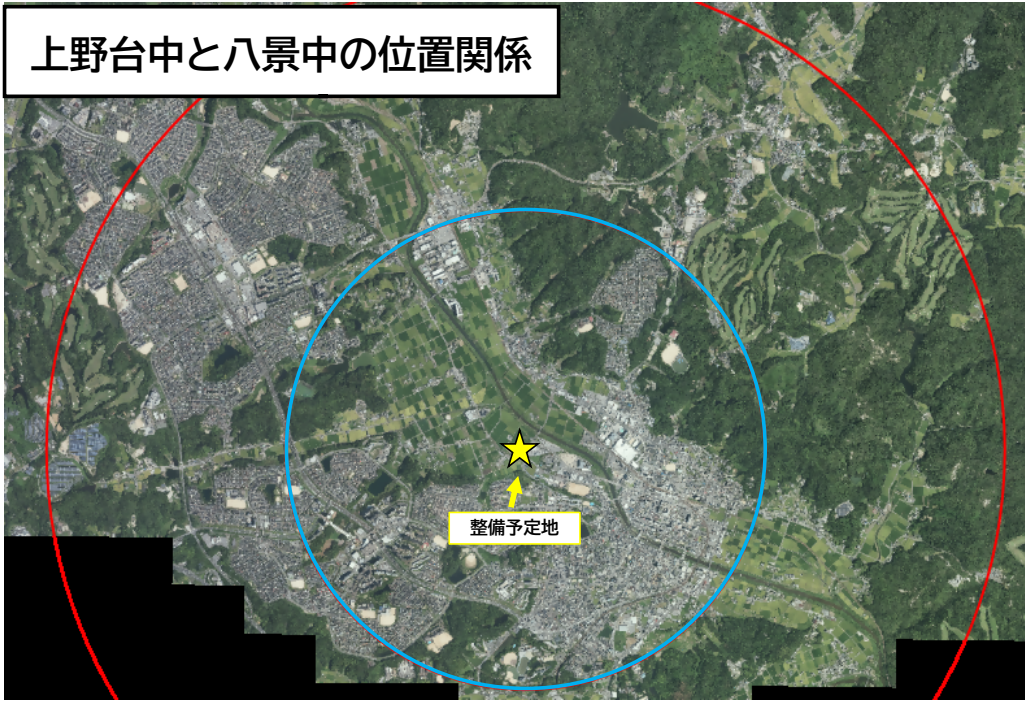
- ・ 生徒が疲労を感じない程度の通学距離の確保が可能
- ・ **生徒が多く居住する地域から近い立地**
- ・ **安全な通学経路**の確保が可能
- ・ 防犯上、死角が多い場所等をするだけ避けられる通学経路の確保が可能 など

4. 実現性

- ・ **法的条件**、都市計画との整合 など



上野台中と八景中の位置関係



八景中学校の多くの生徒が、徒歩通学できる(2km圏内)場所



整備予定地から
半径2km

整備予定地から
半径4km

上野台・八景中学校統合にかかる新中学校整備予定地



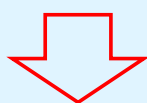
敷地面積約3.2ha
(農道、水路等の付替含む)

新統合中学校イメージ (校舎は3F建て)



13

学級数、生徒数の状況



※注) 学級数は通常学級数

生徒数は特別支援学級生徒数を含む

【今後の見込み】

・上野台中学校区では生徒数の減少傾向が続く一方で、八景中学校区では、三田駅前再開発に伴うマンション建設等もあり、生徒数は横ばいで推移すると見込んでいます。

・統合後は通常学級18学級前後での推移を見込んでいます。

学校名	学年	令和6年5月1日現在	
		学級数	生徒数
上野台中	1年	1	40
	2年	1	32
	3年	1	26
	合計	3	98
八景中	1年	5	183
	2年	5	171
	3年	5	168
	合計	15	522
合計	1年	6	223
	2年	6	203
	3年	6	194
	合計	18	620

14

新設校 開校までのスケジュールなど

【用地・補償等】R6～概ね3年程度

- ・用地補償調査、関係者、関係機関等との協議、測量・ボーリング調査
- ・基本構想・基本計画策定、基本・実施設計、開発許可
- ・事業の認定、用地・補償、農地転用手続き 等

【用地取得後・・造成、建築工事に4～5年程度を見込む】

- ・用地・補償完了後・・造成工事着手
- ・造成工事完了後・・・校舎や体育館等の建築工事



【開校年度は最短でR13年度をめざす】

- ・今後のスケジュールの詳細等は、関係者、関係機関との協議の状況や、用地・補償の状況等を踏まえ、一定の目途が立った段階で、改めてお知らせします。

★具体的な統合準備を行うにあたっては、統合準備会を設置し準備を進めていきます
(令和8年度以降を予定)

15

地権者、耕作者、敷地の周辺の皆さまへのお願い

【測量及び調査（R7年1月頃～）】

- ・敷地境界を確定させ、土地の形状や高さなどを図るため、現況等の測量を行います。
- ・敷地周辺を含め、地権者、耕作者の皆さまに、測量を行う際に、改めてご案内しますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

現地への立ち入りについて、ご理解、ご協力をお願いします

基本構想・基本計画の策定

【基本構想策定（R6年度）策定中】

現在

- ・より良い学校づくりをめざす上で、学校像や求められる設備、機能などを検討整理していくため、両校区の保護者、住民、児童生徒等にアンケート調査(11月)を実施。
- ・現在、アンケートの意見を取りまとめ中。
- ・新統合中学校の整備に際し必要となる設備、機能等を検討し、基本的な考えを基本構想に取りまとめます。

【基本計画策定（R7年度）】

- ・基本構想を踏まえ、施設の利便性や機能性等の観点から、施設配置等を検討し、基本計画を策定

皆さまのご意見をお聴きしながら、よりよい中学校をめざし、計画を策定します。

16

ご清聴ありがとうございました

- ・上野台、八景中学校の子どもたちの教育環境をより良くしていくために、できるだけ早期に、新しい中学校を整備してまいりたいと考えております。
- ・皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



三田市教育委員会